

第10回 SPOPLA北海道ビジネスミーティング

「スポーツ×α」の可能性を探る

Sports Open Innovation Platform HOKKAIDO/SPOPLA北海道および経済産業省北海道経済産業局では、スポーツ関連事業者やスポーツチームなどと連携して新たなスポーツ関連ビジネス創出・拡大に取り組んでいます。今年度は、道内プロスポーツチームらと連携し、スポーツDX事業の実証を進めています。

また北海道内では、プロスポーツチームによる雪、自然環境保全など北海道ならではの社会課題の解決に向けた取組や、自治体と地元企業などが連携し、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）※（2枚目参照）を活用した住民向け健康増進プログラムを実施するなど、スポーツ・運動を通じた多様な取組が進められています。

こうした動向を関係者に広く共有し、理解促進を通じて更なる進展につながることを目的として、「第10回 SPOPLA北海道ビジネスミーティング」を開催します。

2024.2.16 **金**
講演時間 14:00-17:30

会場 TKP札幌駅カンファレンスセンター
ホール3C
(札幌市北区北7条西2-9 ヴェルヴェオオフィス札幌3階)

定員 100名 (※事前申し込み制)

対象 スポーツ関連産業に関心のある
スポーツチーム・団体 / 事業会社 / 自治体 など

セッション1 (基調講演) 14:05-14:50 「共創を通じた これからの スポーツ・スポンサーシップ」

講師 プラスクラス・スポーツ・
インキュベーション株式会社 平地 大樹 氏

近年、企業によるスポーツ・スポンサーシップは、ロゴなどの「ブランドの露出」から、変化してきています。

地域に根差したスポーツクラブのプラットフォームを活用することにより、企業や地域課題の解決に取り組むなど、スポンサーシップを通じた企業やスポーツクラブの新たな共創の在り方について、国内約130クラブを支援する平地大樹氏に講演いただきます。

セッション2・3 (トークセッション) 「“外” から見たスポーツビジネスの 現状と参入可能性」 14:50-15:30

パネリスト

株式会社POLAR SHORTCUT 大久保 徳彦 氏
プラスクラス・スポーツ・
インキュベーション株式会社 平地 大樹 氏

「スポーツが地域課題解決において 果たす役割」 15:40-16:20

パネリスト

ソーシャルセクターパートナーすくらむ 久保 匠 氏
一般社団法人ちくだいKIP 村田 浩一郎 氏

セッション4 (マッチング) 16:20-16:40 「参加者との共創・協業アイデア発表」

セッション5 (施策紹介) 16:40-17:00 「令和6年度スポーツ関連事業予算」

セミナー終了後にネットワーキング・名刺交換会を実施します (17:00-17:30)。

お申し込み 方法

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/hokkaido02/20240216_spopla_bmtg

締切：2024年2月14日 (水) 18:00

※定員に達した場合、締切を待たずに受付を終了します。



事前申し込み制
定員100名 / 参加無料

「第10回 SPOPLA北海道ビジネスミーティング」 講演者プロフィール

セッション

基調講演

1

「共創を通じたこれからのスポーツ・スポンサーシップ」



プラスクラス・スポーツ・インキュベーション株式会社
代表取締役 **平地 大樹氏**

元バスケット選手。渡米しプロを目指すも挫折→人材、WEB業界を経て2011年に起業。2016年に念願のスポーツコンサル会社を設立し、現在130のクラブをご支援中。
ビジョン『スポーツに関わるすべての人がハッピーになる』 ミッション『日本のスポーツ全会場を満員にする』。

セッション

トークセッション

2

「“外” から見たスポーツビジネスの現状と参入可能性」



株式会社POLAR SHORTCUT
代表取締役CEO **大久保 徳彦氏**

新卒でソフトバンク株式会社に入社し、新商品企画や新規事業推進プロジェクトに従事後、動画制作のスタートアップにて、経営企画・人事・財務・新規事業開発領域を統括。2020年4月に札幌へ拠点を移し、地域特化型のシードVCを組成・運営。2023年8月、Fリーグ参入を目指すフットサルチーム「Sorpresa十勝」のトップスポンサーに就任し、財務や事業開発などを支援している。

セッション

トークセッション

3

「スポーツが地域課題解決において果たす役割」



ソーシャルセクターパートナー・すくらむ
代表 **久保 匠氏**

福祉系NPO法人で障がい者支援に携わった後、日本ファンドレイジング協会にて、他分野のクライアントにファンドレイジング力強化プログラムを提供。2022年より独立し、ソーシャルビジネス、NPOなど向けの成長戦略策定、実行支援などを実施。北海道日本ハムファイターズによる地域課題解決プログラム「スターティング・ナイン」の企画・運営、ソーシャル・インパクト・ボンド[※]を活用した住民向け健康増進プログラムの戦略構築などに取り組む。

ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) とは

民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払いの原資とする取組。ニューヨーク市などでは、民間事業者の活動の社会的インパクト（行政コストの削減など）を数値化し、自治体などがその成果報酬を支払うSIBの導入が図られ、民間資金の活用が進んでいる。



一般社団法人ちくだいKIP
理事 **村田 浩一郎氏**

帯広畜産大学准教授、博士（人間科学）。日本オリンピック委員会強化スタッフ、日本スポーツ協会公認体操競技コーチ。2015年4月、総合型地域コミュニティとして「ちくだいKIP」を創設し、体操教室事業を開始。障がいの有無などにとらわれない子ども向け体操教室、成人向けヘルスケア教室を主事業とし、複数自治体とのプロジェクト連携も展開している。2023年現在、会員数約500名。

お問い合わせ先

「SPOPLA（スポプラ）北海道」運営事務局
（株式会社北海道二十一世紀総合研究所内 担当：小川、高松）
Email : sports@htri.co.jp Tel : 011-231-3053

 SPOPLA
HOKKAIDO
スポーツ×αの可能性を追求する



【個人情報の取り扱いについて】

お申し込み時に記載いただいた個人情報は、SPOPLA北海道および経済産業省北海道経済産業局、株式会社北海道二十一世紀総合研究所の責任において適切に管理いたします。本セミナーに関する諸連絡に使用するほか、今後実施する関連セミナーのご案内のために使用させていただく場合がございます。